

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|----|-------|-----|
| 1 | 前期 | FSG | 国語 | 現代の国語 | 2 |

教科書

高等学校 現代の国語（第一学習社）

学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | | | | | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|---------------|
| | 第1回 | 6月12日 | 水の東西 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。二項対立の理解。日本文化についての理解。 | | | | | 教科書42～48ページ |
| | 第2回 | 6月12日 | 話し方の工夫・待遇表現 話し言葉と書き言葉の特徴、及び相手により伝わりやすい表現方法を理解する。敬語表現を意識した言葉遣いを理解し、相手や場に応じた表現が選択ができるようにす | | | | | 教科書210～219ページ |
| | 第3回 | 6月12日 | 羅生門 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。小説の読み方、及びテーマの理解。 | | | | | 教科書28～40ページ |
| | 第4回 | 8月24日 | 無彩色の色 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげている事例を把握する。日本の美意識とその背景についての理解。 | | | | | 教科書82～88ページ |
| | 第5回 | 8月24日 | 城の崎にて 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。情景描写と生き物の描写の理解。 | | | | | 教科書169～180ページ |
| | 第6回 | 8月24日 | 書き方の基礎レッスン 書き方の基礎に対する自分自身の課題に気づき、活動を通してルールや用法を定着させる。表記・表現の基本ルールの理解。比喩などの表現技法の理解。 | | | | | 教科書242～247ページ |

| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | 15組 | 16組 | | | |
|-------|-----|--------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|--|--|--|
| | 第1回 | 別途コース別時間割による 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について | | | | | | | |
| | 第2回 | 別途コース別時間割による 添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について | | | | | | | |

単位認定試験

評価方法

期末試験あり

試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>ノートや各種成果物を総合的に評価

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|----|------|-----|
| 3 | 前期 | FSG | 国語 | 文学国語 | 2 |

教科書

文学国語（大修館書店）

学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|-------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | 第1回 | 6月12日 | 桜の中で、時が重なり合う 言葉による世界の多様なとらえ方を理解するとともに、桜と密接に結びついた「日本人の美意識」に対する理解を深める。 | 教科書240～245 |
| | 第2回 | 6月12日 | 山月記① 漢文調の文体に触れ、中国を舞台とした格調高い語りの世界の特徴を理解するとともに、小説における語りの役割や文体の表現効果について理解を深める。 | 教科書54～66 |
| | 第3回 | 6月12日 | 山月記② 登場人物の心情や境遇を深く理解するとともに、小説世界をより身近に追体験することで生徒自身の生き方や考え方を振り返る契機とする。 | 教科書54～66 |
| | 第4回 | 8月24日 | 藤 自然の美しさへの感動が人生に潤いをもたらすことを理解するとともに、草木とともにある家族への筆者の思いを読み取る。 | 教科書292～299 |
| | 第5回 | 8月24日 | 鍋セット① 登場人物の心情や場面との関係、情景描写を的確に捉えることで、文学的文章の表現効果を理解する。 | 教科書252～267 |
| | 第6回 | 8月24日 | 鍋セット② 現代小説における日常的なディテールや固有物が登場人物の心情や時間変遷における人物関係を支えていくという文学的文章の魅力を味わう。 | 教科書252～267 |

| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | | | | |
|-------|-----|--------------------------------------------------------|-----|-----|--|--|--|--|
| | 第1回 | 別途コース別時間割による 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について | | | | | | |
| | 第2回 | 別途コース別時間割による 添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について | | | | | | |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>ノートや各種成果物を総合的に評価 |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|------|------|-----|
| 2 | 前期 | FSG | 地理歴史 | 歴史総合 | 2 |

教科書

歴史総合（東京書籍）

学習目標

近現代を中心に、史資料を活用し、日本と世界の歴史を相互に関連付け学び、多角的に歴史を考察する。また、課題を追究、解決する活動を通して、現代の問題と歴史との関連を学ぶ。広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--|
| | 第1回 | 6月12日 | 内容：18世紀の東アジア、イギリスの産業革命、東アジアの国際秩序の変化と日本の開国、アメリカの独立とフランス革命 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。 | 30-53 | |
| | 第2回 | 6月12日 | 内容：明治維新と東アジアの国際関係、日清、日露戦争、第一次世界大戦 幕末から第一次世界大戦の動乱の中で、日本の国際社会での動向を学ぶことで、現代の政治・経済・文化の基盤を把握する。 | 54-89 | |
| | 第3回 | 6月12日 | 歴史上の人物について（生い立ち、戦績、エピソードなど）まとめることで、時代の流れや背景を理解し、歴史的思考力を養う。 | 教科書全ページ | |
| | 第4回 | 8月24日 | 沖縄戦と戦後沖縄の歴史学習により、現代の安全保障や平和構築について考える。また、現代の沖縄が抱える問題を学ぶことで、社会的課題を解決する能力を育む。 | 教科書全ページ | |
| | 第5回 | 8月24日 | 内容：ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、国際関係や平和を維持するための外交の重要性を考察する。 | 88-115 | |
| | 第6回 | 8月24日 | 内容：日中戦争と深刻化する世界の危機、第二次世界大戦、アジア太平洋戦争と日本の敗戦 戦争の悲惨な実態を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。 | 116-127 | |
| 面接指導日 | 回数 | 学習のねらい、内容など | | 日程 | |
| | 第1回 | 第1章 2節 結びつく世界と日本の開国 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。 | | 別途コース別時間割による | |
| 第2回 | 第2章 3節 経済危機と第二次世界大戦 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。 | | 別途コース別時間割による | | |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| 期末試験あり | | 試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する | | | |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|----|----|-----|
| 3 | 前期 | FSG | 公民 | 倫理 | 2 |

教科書

倫理（東京書籍）

学習目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を学び、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動するまでの多角的な視野の構築を目指す。また、人間尊重の精神とグローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することを目指す。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| | 第1回 | 6月12日 | 内容：ギリシャ思想・自然哲学者、ソクラテス、プラトン 古代ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。 | P26～P36 |
| | 第2回 | 6月12日 | 内容：ギリシャ思想・アリストテレス、経験論と合理論・ベーコン、デカルト アリストテレスの倫理学から、人間にとっての幸福とは何かを考える。 幸福、真理、存在などに着目して、近代哲学者ベーコン、デカルトの思想から多面的・多角的に考察す | P37～P39 P91～P93 |
| | 第3回 | 6月12日 | トロッコ問題のジレンマについて、功利主義や義務論的な視点を学び、自ら主体的に考え行動する資質を養う。 | 教科書全ページ |
| | 第4回 | 8月24日 | 現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。 | 教科書全ページ |
| | 第5回 | 8月24日 | 内容：ドイツ観念論：カント、ヘーゲル カントの説いた道徳法則、理性の命令、自律などの概念について理解し、人間としてのあり方生き方について思索を深める。また、ヘーゲルの弁証法や歴史観について理解させ、世界のあり方について考える。 | P100～P106 |
| | 第6回 | 8月24日 | 内容：実存主義：キルケゴール、ニーチェ、ハイデッガー、ヤスパース、サルトル 人間理性への信頼を基盤に形成された近代社会を批判する実存主義者の思想を学び、主体的な生き方について学びを深める。 | P116～P124 |
| | 面接指導日 | 回数 | 学習のねらい、内容など | |
| 第1回 | | 第2章 2節 ギリシャの思想 ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。 | 別途コース別時間割による | |
| 第2回 | | 第3章 3節 人格の尊厳と人倫の思想 カント、ヘーゲルの思想を学ぶことで、人間や世界のあり方について考察する。 | 別途コース別時間割による | |

単位認定試験

評価方法

期末試験あり

試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|----|-----|-----|
| 1 | 前期 | FSG | 数学 | 数学Ⅰ | 2 |

教科書

新数学Ⅰ（東京書籍）【改訂版】

学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 数と式、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 (2) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。
 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| | 第1回 | 6月12日 | 1章 文字と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2) | 教科書P31～P39 【知識・技能】 |
| | 第2回 | 6月12日 | 5 乗法公式 6 因数分解(1) | 教科書P40～P43 【知識・技能】 |
| | 第3回 | 6月12日 | 2節 実数 1 平方根 2 根号をふくむ式の計算 4 分数と小数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 4 不等式の解 5 不等式の解き方 | 教科書P48～P66 【知識・技能】 |
| | 第4回 | 8月24日 | 【知識・技能】 6 2次方程式とその解き方 【主体的に学習に取り組む態度】に関する問題 | 教科書P68～P69 【知識・技能】 教科書P4～P71 【主体的に学習に取り組む態度】 |
| | 第5回 | 8月24日 | 1節 文字と式 7 因数分解(2) 8 展開、因数分解のくふうと利用 2節 実数 2 根号をふくむ式の計算 3 数の分類 | 教科書P44～P55 【思考・判断・表現力】 |
| | 第6回 | 8月24日 | 第3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方 6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式 | 教科書P58～P71 【思考・判断・表現力】 |

| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | 15組 | 16組 | | | | |
|-------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--|
| | 第1回 | コース別時間割による | | | | | | | | |
| | 第2回 | 12組 | 13組 | 14組 | 15組 | 16組 | | | | |
| | コース別時間割による | | | | | | | | | |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>添削課題、 で評価する |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|----|------|-----|
| 3 | 前期 | FSG | 理科 | 生物基礎 | 2 |

教科書

数研出版 「改訂版 新編 生物基礎」 (104 数研 生基/903)

学習目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 第1回 | 6月12日 | | 多様な生物にも共通性があることを理解し、多様な生物に共通性が見られる理由について理解する。また、生命活動にはエネルギーが必要であることを理解するとともに生命活動にはATPのエネルギーが利用されていることを理解する。 |
| 第2回 | 6月12日 | | DNAが複製されるしくみおよび、体細胞分裂の過程でDNAが複製され分配されることを理解する。また、DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程を理解する。 | P.60～73 |
| 第3回 | 6月12日 | | からだを構成する細胞で遺伝子がどのように発現しているかを理解する。 | P.74～88 |
| 第4回 | 8月24日 | | 体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解し、自律神経系と内分泌系がからだの状態を調節するしくみを理解する。また、自律神経系と内分泌系のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。 | P.94～113 |
| 第5回 | 8月24日 | | 私たちのからだを守る免疫のしくみを理解し、免疫と病気や治療法との関係について理解する。 | P.114～128 |
| 第6回 | 8月24日 | | いろいろな植生とその特徴を理解し、世界各地の多様なバイオームおよび、日本に分布するバイオームについて理解する。また、生態系がどのように構成されているのかを理解するとともに、人間生活が生態系に与える影響と生態系の保全の重要性を理解する。 | P.134～174 |

| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる |
|-------|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--|------------------------------------------|
| | 第1回 | ※ | ※ | ※ | | | | | |
| 第2回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 添削課題の取り組み方についての詳細 |
| 第3回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 実験① カタラーゼのはたらき |
| 第4回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 実験①の振り返りとまとめ |
| 第5回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 実験② DNAの抽出 |
| 第6回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 実験②の振り返りとまとめ |
| 第7回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 実習① DNA模型の作製 |
| 第8回 | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※日程はコースの授業スケジュールによる 試験の取り組み方について |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平常の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある + α 問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価 |

| 令和8年度 通信教育実施計画 | | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----|------------------------|
| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
| 1 | 前期 | FSG | 保健体育 | 体育 | 2 |
| 教科書 | | | | | |
| 現代高等保健体育（大修館書店） | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 学習のねらい、内容など | | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 内容：スポーツの始まりと変遷、文化としてのスポーツ 提出期限：8月24日(月) | | | p.136～143 |
| | 第2回 | 内容：オリンピックとパラリンピックの意義、スポーツの高潔さとドーピング 提出期限：8月24日(月) | | | p.144～147 p.150～153 |
| 面接指導日 | 第1回 | 別途コース別時間割による | 1体育の心得 2単位について（シラバス） 3授業ルール 4BLEND、クラスルームの登録 | | |
| | 第2回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第3回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第4回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第5回 | 球技（ゴール型） | 球技（ゴール型） | | |
| | 第6回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第7回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第8回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第9回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第10回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| なし | | 添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 | | | |

| 令和8年度 通信教育実施計画 | | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----|------------------------|
| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
| 2 | 前期 | FSG | 保健体育 | 体育 | 2 |
| 教科書 | | | | | |
| 現代高等保健体育（大修館書店） | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 学習のねらい、内容など | | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 内容：スポーツにおける技能と体力、効果的な動きのメカニズム 提出期限：8月24日(月) | | | p.158～159 p.168～171 |
| | 第2回 | 内容：体力トレーニング、運動やスポーツでの安全確保 提出期限：8月24日(月) | | | p.172～180 |
| 面接指導日 | 第1回 | 別途コース別時間割による | 1体育の心得 2単位について（シラバス） 3授業ルール 4BLEND、クラスルームの登録 | | |
| | 第2回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第3回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第4回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第5回 | 球技（ゴール型） | 球技（ゴール型） | | |
| | 第6回 | 別途コース別時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第7回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第8回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第9回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第10回 | 別途コース別時間割による | 球技（ネット型） | | |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| なし | | 添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 | | | |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----|---------------|
| 3 | 前期 | FSG | 保健体育 | 体育 | 1 |
| 教科書 | | | | | |
| 現代高等保健体育（大修館書店） | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 学習のねらい、内容など | | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 内容：生涯スポーツ、豊かなスポーツライフについて 提出期限：8月24日(月) | | | P.182～199 |
| 面接指導日 | 第1回 | 別途コース別 時間割による | 1体育の心得 2単位について（シラバス） 3授業ルール 4 BLEND、クラスルームの登録 | | |
| | 第2回 | 別途コース別 時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第3回 | 別途コース別 時間割による | 球技（ゴール型） | | |
| | 第4回 | 別途コース別 時間割による | 球技（ネット型） | | |
| | 第5回 | 別途コース別 時間割による | 球技（ネット型） | | |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| なし | | 添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 | | | |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|------|----|-----|
| 1 | 前期 | FSG | 保健体育 | 保健 | 1 |

教科書

現代高等保健体育（改訂版）

学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

| 添削課題 | 回数 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|-------------------------------------------|-----------------|
| | 第1回 | 内容：思春期と健康、性意識と性行動の選択 提出期限：8月24日(月) | 3単元 2, 3 |
| | 第2回 | 内容：妊娠・出産と健康、避妊本と人工妊娠中絶 提出期限：8月24日(月) | 3単元 4, 5 |
| | 第3回 | 内容：性感染症・エイズとその予防、結婚生活と健康 提出期限：8月24日(月) | 1単元 17 3単元 6 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------------|-----|-----|-----|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | 15組 | 16組 | | | | | | | | |
| | 第1回 | 別途コース別時間割による | | | | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | | | | | | |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。 |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|------|----|-----|
| 2 | 前期 | FSG | 保健体育 | 保健 | 1 |

教科書

現代高等保健体育（大修館書店）

学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

| 添削課題 | 回数 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| | 第1回 | 生活習慣病の予防と回復、がんの原因と予防、がんの治療と回復 提出期限：8月24日(月) | 1単元 3, 4, 5 |
| | 第2回 | 食事と健康、喫煙と健康、飲酒と健康 提出期限：8月24日(月) | 1単元 7, 8, 9 |
| | 第3回 | 薬物乱用と健康、精神疾患の特徴、精神疾患の予防、精神疾患からの回復、応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法 提出期限：8月24日(月) | 1単元 11, 12, 13 2単元 4, 5, 6 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------------|-----|-----|--|--|--|--|-------------------------------|--|--|--|--|
| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | | | | | | | | | |
| | 第1回 | 別途コース別時間割による | | | | | | | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | | |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。 |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|----|-----|-----|
| 1 | 前期 | FSG | 芸術 | 美術Ⅰ | 2 |

教科書

高校生の美術1

学習目標

基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。

具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育む。

| 添削課題 | 回数 | 日切 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | 第1回 | 6月12日 | さまざまな描画材 絵を描くための描画材の種類について学習し、それぞれの性質や特徴を理解し、特に制作で用いることが多い色鉛筆の幅広い表現方法を学習する。 | 教科書p130,p131 |
| | 第2回 | 6月12日 | 美の秩序 構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リピティション(繰り返し)、グラデーション(階調)、アクセント(強調) | 教科書p150,p151 |
| | 第3回 | 6月12日 | 三原色の学習 色光と色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを完成させる。 | 教科書p153 |
| | 第4回 | 8月24日 | 三原色を用いて着色を行う 第3回で学習したことを踏まえて、色料の三原色のみで絵を描く。三原色で自分の作りたい色を的活に作る力を養う。 | 教科書p153,p6~p9 |
| | 第5回 | 8月24日 | 鉛筆デッサン学習 鉛筆の諧調について 鉛筆の芯の固さによる濃度や表現の違いについて学ぶ。3H,HB、2Bの各鉛筆を用いる。 | 教科書p132~p135 |
| | 第6回 | 8月24日 | 手のデッサン 第5回で学習した内容を踏まえて、陰影や質感などの表現方法を学ぶ。また、日本美術の鑑賞として仏像の手の形にフォーカスを当てて、手が持つさまざまな表現方法について学ぶ。 | 教科書p132~p135 |

| 面接指導日 | クラス | 12, 13, 14, 15, 16組 |
|-------|-----|-----------------------------|
| | 第1回 | ※別途コース別時間割による レポート第1回の実施 |
| | 第2回 | ※別途コース別時間割による レポート第2回の実施 |
| | 第3回 | ※別途コース別時間割による レポート第3回の実施 |
| | 第4回 | ※別途コース別時間割による レポート第4回の実施 |
| | 第5回 | ※別途コース別時間割による レポート第4回の実施 |
| | 第6回 | ※別途コース別時間割による レポート第5回の実施 |
| | 第7回 | ※別途コース別時間割による レポート第6回の実施 |
| | 第8回 | ※別途コース別時間割による レポート第6回の実施 |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|--------------------------------------------------------|
| 無し | 平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。 |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------------------------------------------------|
| 1 | 前期 | FSG | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ | 2 |
| 教科書 | | | | | |
| All Aboard!! English Communication Ⅰ Revised (東京書籍) | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 締切 | 学習のねらい、内容など | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 6月12日 | be動詞や一般動詞の現在形、過去形、動詞のing形を理解する。Lesson 1、2の新出単語、語句を理解する。 | | Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2 |
| | 第2回 | 6月12日 | be動詞や一般動詞、動詞の過去形、「～している(していた)」ことについて<be動詞+動詞の-ing形>を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について整理・理解している。オーストラリアに生息する珍しい野生動物について理解する。 | | Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3(文法のみ) |
| | 第3回 | 6月12日 | be動詞や一般動詞、動詞の過去形、<be動詞+動詞の-ing形>、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。 | | Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3(文法のみ) |
| | 第4回 | 8月24日 | Lesson 4,7,10の新出単語、語句を理解する。To+動詞の原形、比較表現、関係代名詞を理解する。 | | Lesson 4 Lesson 7 Lesson 10(文法のみ) |
| | 第5回 | 8月24日 | 本文を読み、ウユニ塩原でやりたいことや日本のおすすめの場所、今週末にやりたいことについて考える。アンネ・フランクについて理解している。また、自分に影響を与えた人物についての情報などを話したり書いたりする。to+動詞の原形、比較表現<-er> <(the -est)> <as+原級+as>、関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 | | Lesson 4 Lesson 7 Lesson 10(文法のみ) |
| | 第6回 | 8月24日 | to+動詞の原形、比較表現<-er> <(the -est)> <as+原級+as>、関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。 | | Lesson 4 Lesson 7 Lesson 10(文法のみ) |
| 面接指導日 | クラス | 学習のねらい、内容など | | | 日程 |
| | 第1回 | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | 別途コース別時間割による |
| | 第2回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第3回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第4回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第5回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第6回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第7回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第8回 | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | 別途コース別時間割による |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| 期末試験あり | | 試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組み態度>学習に組み込み、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価 | | | |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------|
| 3 | 前期 | FSG | 外国語 | 英語コミュニケーションII | 2 |
| 教科書 | | | | | |
| All Aboard!! English Communication II (東京書籍) | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 締切 | 学習のねらい、内容など | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 6月12日 | Lesson 1、5の新出単語、語句を理解している。関係代名詞whatを用いた文の形・意味、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。 | | Lesson 1 Lesson 5 |
| | 第2回 | 6月12日 | 関係代名詞what、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解する。イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について理解する。 | | Lesson 1 Lesson 5 |
| | 第3回 | 6月12日 | 関係代名詞what、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。Communication 1の単語を理解する。 | | Lesson 1 Lesson 5 |
| | 第4回 | 8月24日 | Lesson 2、Lesson 9の新出単語、語句を理解する。 | | Lesson 2 Lesson 9 |
| | 第5回 | 8月24日 | チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学ぶ。使役動詞 (make, let, have) を用いた文の形・意味を理解する。 | | Lesson 9 |
| | 第6回 | 8月24日 | 比較表現 (more) (the most)、使役動詞 (make, let, have) を用いた文の形・意味を理解し、指示された英文を作成する。 | | Lesson 2 Lesson 9 |
| 面接指導日 | クラス | 学習のねらい、内容など | | | 日程 |
| | 第1回 | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | 別途コース別時間割による |
| | 第2回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第3回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第4回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第5回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第6回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第7回 | 音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第8回 | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | 別途コース別時間割による |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| 期末試験あり | | 試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価 | | | |

| 令和8年度 通信教育実施計画 | | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
| 2 | 前期 | FSG | 外国語 | 論理表現 | 2 |
| 教科書 | | | | | |
| VISTALogic and Expression I (三省堂) | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| <p>多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、</p> <ol style="list-style-type: none"> 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。 | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 締切 | 学習のねらい、内容など | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 6月12日 | 自己紹介する、相手にその人の魅力を伝える、今していることや過去にしていたこと、夏休みの予定を伝えあうときの表現に使う単語を身につける。 | | Lesson 1～4 |
| | 第2回 | 6月12日 | 自己紹介する、相手にその人の魅力を伝える、今していることや過去にしていたこと、夏休みの予定を伝えあうときの表現に使う基本的な技能を身につける。 | | Lesson 1～4 |
| | 第3回 | 6月12日 | 自己紹介する、相手にその人の魅力を伝える、今していることや過去にしていたこと、夏休みの予定を伝えあうときの表現に使える語句を身につける。 | | Lesson 1～4 |
| | 第4回 | 8月24日 | 自分が経験したことを紹介する、英語でEmailを書くために必要な「完了したこと」「継続していること」を表現する比較表現に必要な単語を身につける。 | | Lesson 5～Lesson 8 |
| | 第5回 | 8月24日 | 自分が経験したことを紹介する、英語でEmailを書くために必要な「完了したこと」「継続していること」を表現する、比較表現に使う基本的な技能を身につける。 | | Lesson 5～Lesson 8 |
| | 第6回 | 8月24日 | 自分が経験したことを紹介する、英語でEmailを書くために必要な「完了したこと」「継続していること」を表現する、比較表現に使う語句を身につける。 | | Lesson 5～Lesson 8 |
| 面接指導日 | クラス | 学習のねらい、内容など | | | 日程 |
| | 第1回 | 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について | | | 別途コース別時間割による |
| | 第2回 | 音読指導、単語・熟語確認、ダイアログ確認、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第3回 | 音読指導、単語・熟語確認、ダイアログ確認、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第4回 | 音読指導、単語・熟語確認、ダイアログ確認、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第5回 | 音読指導、単語・熟語確認、ダイアログ確認、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第6回 | 音読指導、単語・熟語確認、ダイアログ確認、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第7回 | 音読指導、単語・熟語確認、ダイアログ確認、文法指導等 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第8回 | 添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について | | | 別途コース別時間割による |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| 期末試験あり | | 試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価 | | | |

| 令和8年度 通信教育実施計画 | | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------|
| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
| 2 | 前期 | FSG | 家庭 | 家庭総合 | 2 |
| 教科書 | | | | | |
| 高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社） | | | | | |
| 学習目標 | | | | | |
| <p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（3）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p> | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 締切 | 学習のねらい、内容など | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 6月12日 | 1章：これからの生き方と家族（家族・家庭） 2章：次世代を育む（保育） 【知識・技能】 | | 教科書p.5～p.26 教科書p.28～54 |
| | 第2回 | 6月12日 | 3章：充実した生涯へ（高齢者） 4章：ともに生きる（福祉・共生） 【知識・技能】 | | 教科書p.55～p.70 教科書p.71～p.81 |
| | 第3回 | 8月24日 | 1章～4章の内容（家族・家庭・保育・高齢者・共生）についての知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】 | | 教科書p.5～p.26 教科書p.28～54 教科書p.55～p.70 教科書p.71～p.81 |
| | 第4回 | 8月24日 | 4章の内容（共生）についての生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動を計画する 【主体的】 | | 教科書p.71～p.81 |
| 面接指導日 | 回数 | 学習のねらい、内容など | | | 日程 |
| | 第1回 | 家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。 | | | 別途コース別時間割による |
| | 第2回 | 第3章 子どもと共に育つ 妊婦体験を通して、妊婦出産や母体の変化・周囲の理解について学習する | | | 別途コース別時間割による |
| | 第3回 | 第3章 子どもと共に育つ 赤ちゃんのお世話実習を通して子どもについて学習する | | | 別途コース別時間割による |
| 第4回 | 家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。 | | | 別途コース別時間割による | |
| 単位認定試験 | | 評価方法 | | | |
| 期末試験あり | | 試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する | | | |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|------|------|-----|
| 無 | 前期 | FSG | 地理歴史 | 地理総合 | 2 |

教科書

地理総合（東京書籍）

学習目標

地図や統計などを活用して情報を読み解き、多様な地域の理解を深める。また、様々な地域や地球環境について学ぶことで、地域や環境の特徴を多面的・多角的に捉える力を育てる。

| 添削課題 | 回数 | 日程 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | 第1回 | 6月12日 | 第1編 地図や情報システムでとらえる現代社会 地図、GIS、統計資料、グラフなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。 | P7～52 |
| | 第2回 | 6月12日 | 第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 日本と世界の地域の特色を比較しながら、文化、自然、産業、生活様式の多様性や共通性を理解する。 | P53～101 |
| | 第3回 | 6月12日 | 地域の特色を理解し、持続可能な観光や文化や自然を活かした都市の発展を考える。 | 教科書全ページ |
| | 第4回 | 8月24日 | SDGsや防災について学ぶことで、主体的に考え課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を養う。 | 教科書全ページ |
| | 第5回 | 8月24日 | 第2編 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。 | P117～172 |
| | 第6回 | 8月24日 | 第3編 持続可能な地域づくりと私たち 自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。 | P173～204 |

| 面接指導日 | 回数 | 学習のねらい、内容など | 日程 |
|-------|-----|----------------------------------------------------------------------------|--------------|
| | 第1回 | 地図、GISなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。 | 別途コース別時間割による |
| | 第2回 | 地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。 | 別途コース別時間割による |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある+α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価 |

| 令和8年度 通信教育実施計画 | | | | | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|---------------|
| 学年 | 学期 | コース | 教科 | | | 科目 | 単位数 |
| 無 | 前期 | FSG | 情報 | | | 情報Ⅰ | 2 |
| 教科書 | | | | | | | |
| 新編情報Ⅰ（東京書籍） | | | | | | | |
| 学習目標 | | | | | | | |
| 情報に関する科学的な見方・考え方を重視し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 | | | | | | | |
| 添削課題 | 回数 | 締切 | 学習のねらい、内容など | | | | 備考 教科書ページ等 |
| | 第1回 | 6月12日 | 情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用を学ぶ。情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性を理解し、著作権や引用のルールを習得。さらに、新しい情報技術の進展やサイバー犯罪、健康への影響について学習する。 | | | | pp.8-27 |
| | 第2回 | 6月12日 | メディアの変遷や特性、ソーシャルメディアやネットコミュニケーションの特徴を学ぶ。デジタルデータの仕組みやメリット・デメリット、情報のデジタル表現や圧縮を理解する。情報デザインやユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースについて学習する。 | | | | pp.36-55 |
| | 第3回 | 8月24日 | コンピュータの基本構成やハードウェア・ソフトウェアの仕組みを理解し、演算や処理回路について学ぶ。さらに、アルゴリズムの必要性や表現方法、プログラムの作成や制御構造について学習する。 | | | | pp.64-83 |
| | 第4回 | 8月24日 | 情報通信ネットワークの基礎、プロトコル（TCP/IP）を学ぶ。ネットワークハードウェアやサーバ、IPアドレス、DNSの役割を理解し、インターネットやWWW、電子メールについて学習する。さらに、情報セキュリティの確保方法やデータ・データベースの役割と活用例を学ぶ。 | | | | pp.92-111 |
| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | 15組 | 16組 | |
| | 第1回 | ※ | 別途コース別時間割による | | | | |
| | | | 学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について | | | | |
| | 第2回 | ※ | 別途コース別時間割による | | | | |
| | | | 情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性など | | | | |
| 第3回 | ※ | 別途コース別時間割による | | | | | |
| | | 情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用など | | | | | |
| 第4回 | ※ | 別途コース別時間割による | | | | | |
| | | 情報デザインやユニバーサルデザインなど | | | | | |
| 単位認定試験 | | | 評価方法 | | | | |
| なし | | | 添削課題や面接指導日・学習支援日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については添削課題における各観点の到達度や任意課題から評価する。 | | | | |

令和8年度 通信教育実施計画

| 学年 | 学期 | コース | 教科 | 科目 | 単位数 |
|----|----|-----|------|-----------|-----|
| 無 | 前期 | FSG | 保健体育 | 保健 (特別補充) | 2 |

教科書

現代高等保健体育 (改訂版)

学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

| 添削課題 | 回数 | 学習のねらい、内容など | 備考 教科書ページ等 |
|------|-----|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| | 第1回 | 内容：思春期と健康、性意識と性行動の選択 提出期限：8月24日(月) | 3単元 2, 3 |
| | 第2回 | 内容：妊娠・出産と健康、避妊本と人工妊娠中絶 提出期限：8月24日(月) | 3単元 4, 5 |
| | 第3回 | 内容：性感染症・エイズとその予防、結婚生活と健康 提出期限：8月24日(月) | 1単元 17 3単元 6 |
| | 第4回 | 生活習慣病の予防と回復、がんの原因と予防、がんの治療と回復 提出期限：8月24日(月) | 1単元 3, 4, 5 |
| | 第5回 | 食事と健康、喫煙と健康、飲酒と健康 提出期限：8月24日(月) | 1単元 7, 8, 9 |
| | 第6回 | 薬物乱用と健康、精神疾患の特徴、精神疾患の予防、精神疾患からの回復、応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法 提出期限：8月24日(月) | 1単元 11, 12, 13 2単元 4, 5, 6 |

| 面接指導日 | クラス | 12組 | 13組 | 14組 | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------------|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | 第1回 | 別途コース別時間割による | | | | | | | | | | | | |
| | 第2回 | 別途コース別時間割による | | | | | | | | | | | | |

| 単位認定試験 | 評価方法 |
|--------|------------------------------------------|
| 期末試験あり | 試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。 |